

## 第4章 経営の基本方針

### 1 基本理念

将来にわたり持続可能な流域下水道の安定運営を通じて、公共用水域の水質保全に努め、健康で快適な生活環境の創出を目指します。

サステナブルな水処理で  
環境を守り  
清潔で豊かな未来

### 2 経営方針

#### 安定したサービスと環境保全

施設の適切な整備・管理と放流水の水質管理などによって、安定した水処理機能の確保と生物多様性などにも配慮した、美しく豊かな水環境の創出に取り組みます。

#### 安全・安心の確保

災害に強い施設整備を進めるとともに、関係団体との連携強化やデジタル技術の活用などによって、下水道の利用に対する安全と安心を確保します。

#### 経営の健全性向上

物価変動の影響を緩和する手段としてGXの推進や、汚水処理事業の共同化などで執行体制を強化し、官民連携事業の検討を含め、経営の健全性を高めます。

#### 資産活用による社会貢献

下水処理場の敷地や事業活動を脱炭素化や資源循環につなげるとともに、地域の公共的な空間として利活用するなど、社会的要請に応じた事業価値の最大化を図ります。

### 3 SDGsとの関係

経営戦略の基本理念および経営方針と方向性を同じくするSDGs（Sustainable Development Goals）のゴールは、次のとおりです。

